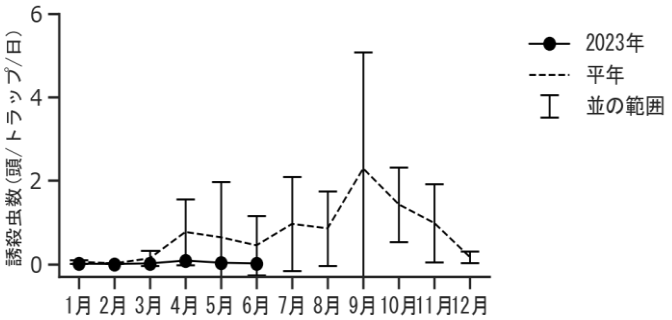
令和　5 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ			
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並		
予　報	6 月からの増減傾向	↗		
	7 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

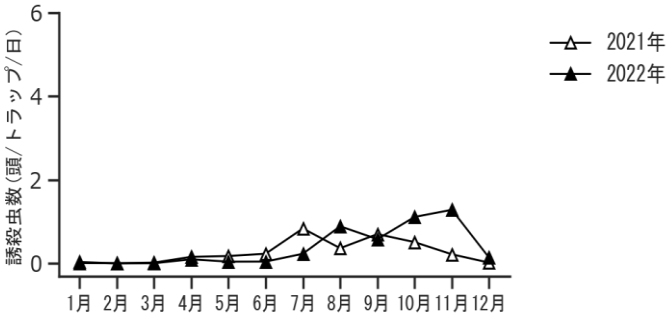
調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率60.0%（平年：62.0%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

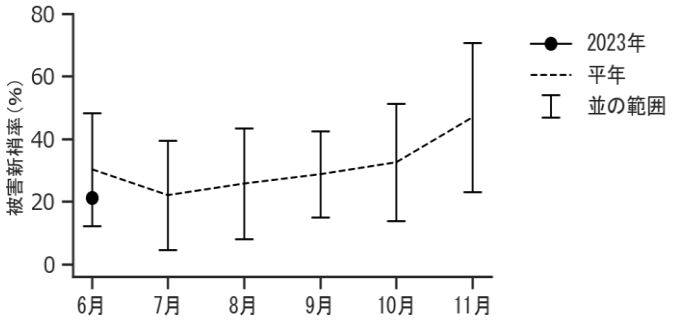
令和　5 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	① マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並		
予報	6 月からの増減傾向	↘		
	7 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

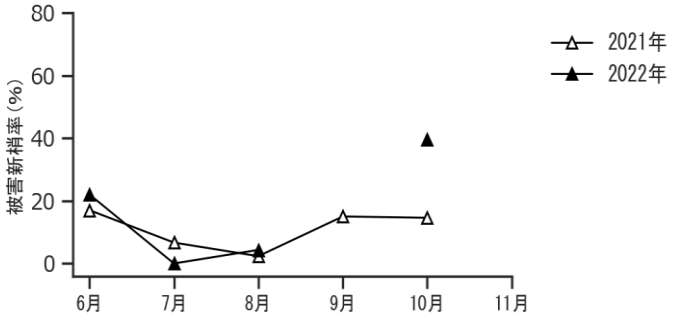
調査結果

発生株率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率66.7%（平年：63.3%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

被害葉

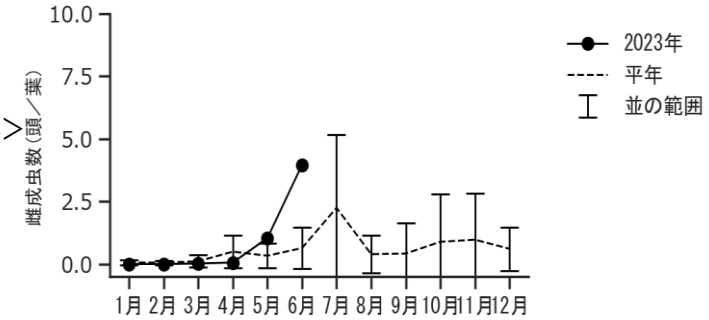
令和　5 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類		シュレイツメハダニ	
調査結果	6 月の発生量（平年比）	多		
予報	6 月からの増減傾向	↗		
	7 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

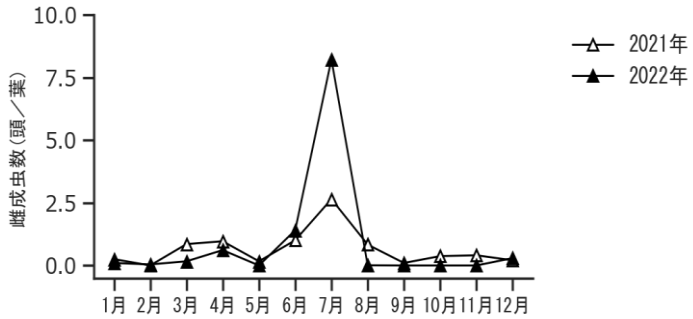
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：

・発生施設率50.0%（平年：40.0%）

防除のポイント

・発生の多かったほ場において、収穫終了後の防除を徹底する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ